

1. 橋梁長寿命化修繕計画策定の背景と目的

(1) 背景

大泉町（以下、「本町」とします。）が管理する橋梁は令和7（2025）年3月31日現在64橋（道路橋60橋、横断歩道橋3橋、跨線橋1橋。以下「橋梁」とします。）あります。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は全体の38%を占めており、20年後の令和27（2045）年3月には、その割合は86%程度まで増加し、急速に老朽化していくことがわかります。

今後、従来の事後的な修繕を継続していくと維持管理コストが高くなり、道路交通の安全性に支障が出ることが予想されます。

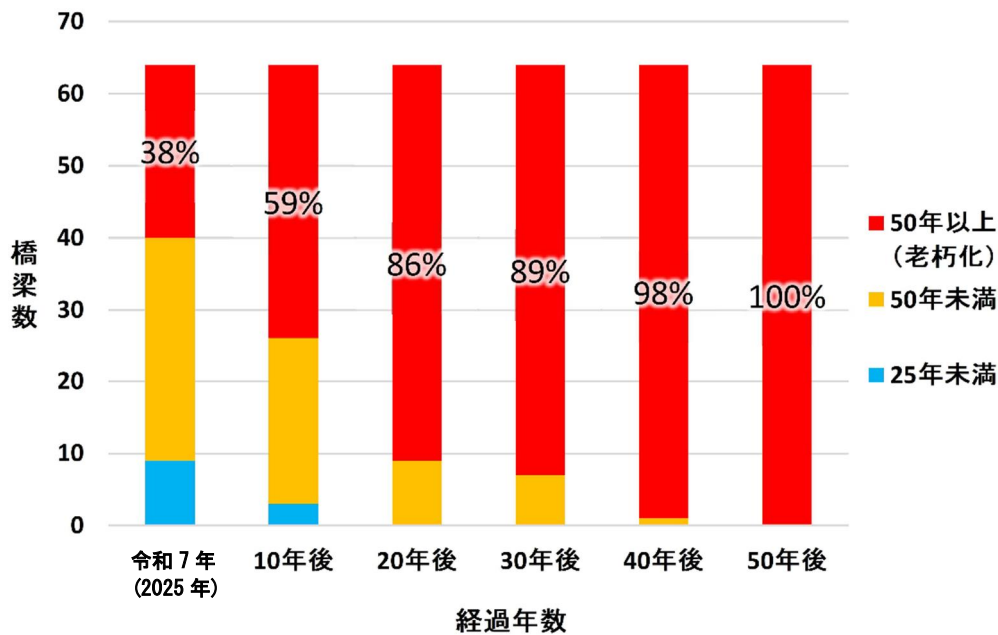


図1 経過年別の橋梁数と割合

(2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持管理していくための取り組みが不可欠となります。そこで、従来の事後的な修繕から予防的な修繕へと転換を行い、橋梁の長寿命化並びに維持管理コストの縮減を図りつつ、道路交通の安全性を確保することを目的に橋梁長寿命化修繕計画を策定します。